

## ●東大の研究者に会いに行こう!

【日時】 2022年2月13日(日)10:00~11:30

【場所】 横瀬町市民会館

【参加者】 子ども41名

【講師】 恐竜: 多田 誠之郎 さん(東京大学地球惑星科学専攻 博士課程1年)

宇宙: 森 万由子 さん(東京大学天文学専攻 博士課程2年)

地球: 奥田 善之 さん(東京大学地球惑星科学専攻 研究員)



保護者向けにエリア898でパブリックビューイングを開催したほか、Zoomでライブ配信も行いました。

講師3名の情熱溢れるトーク、クイズや実験に大盛り上がり!情熱溢れる若手研究者との出会いは、子どもたちの心に残るものだったのではないかと思います。



### 参加者(子どもたち)の感想

実験がとても  
分かりやすかった。

私たちは緑の宝石の上で  
暮らしていることが  
分かった。

地球があんなに  
小さいなんて  
思いませんでした。

いずれ僕も東大に行き、  
宇宙などの研究をして  
みたいです。

### 参加者(保護者)の感想

今回残念ながら、Zoomでの参加になって  
しまいましたが、家族で楽しく拝聴できました!  
研究内容への愛があふれていて、  
それが一番人を感動させる力なんだなと感じました。  
子どもたちも「自分が色々解らないって  
事が解った!」と。

子どもが発言できる時間を設けたり、  
興味を引く話し方が素晴らしかったです。  
興味を持って突き詰めていく楽しさを  
教えていただきました。



## ●川遊びが100倍楽しくなる！ 地球と向き合う石の話【大人限定】

【日時】 2022年2月27日(土)10:00~13:00

【場所】 タテノイトおよび横瀬川

【参加者】 大人20名



ようやくできました、タテノイトのジオツアー・ちっぼけツアーの大人向けの会。しっかり3時間、石と向き合ってもらえたのでは、と思います。あたり前のように転がっている石ころにも、何億年もの悠久のストーリーが刻まれています。大人のみなさんが時間を忘れて河原で石と向き合う姿はなかなか素敵な光景でした。



河原の石は一つとして同じものはありません。しかし、何を以て違うと思うか、人それぞれ。小さな石を拾う方、大きい石を拾う人。サイズが揃っていたりバラバラだったり。石の個性だけでなく、参加者のみなさんお互いの個性も感じていただけたかもしれません。

近所の何気ない河原の石から地球スケールに話を広げられるのも、秩父ならではの。

### 参加者の感想

講義も分かりやすく、特に川に行つてのフィールドワークが面白かったです。こんなに自分が熱中できるのだと発見することもできました。採集した石は額縁に並べたりして、活用したいなと思いました。自分が生まれて住んでいる秩父の不思議さを知ることができたので、もっと知りたくなりました。

大の大人が河原で遊び倒す時間ももちろんですが、地球上の石ころ一つにもストーリーがあり、それらは元を辿っていくことが出来るということを体験的に学べるいい機会でした。またこうした企画に参加し、大人であっても学び続けることの豊かさを感じていきたいです。



## ●春なのに?お芋フェス

【日時】 2022年3月5日(土)13:00~  
 【場所】 チャレンジキッチンENgaWA  
 【参加者】 大人10名、子ども12名

焼き芋よりアイスが食べたいポカポカ陽気のなか、お芋フェス@ENgaWAを開催しました!  
 始める前に、どれが一番美味しそうかを予想してもらったところ、一番人気は、”石焼き+濡れ新聞紙&アルミホイル包み”。確かに、一番手間がかかりますからね!



意外と時間がかかる焼き芋。焚き火を楽しんだり、遊んだりして待ちます。良い匂いでお腹がすいたところで、いざ食べ比べ。「実際、そんなに変わらないんじゃないの?」と思っていましたが、見た目も違うし、味も違いました。食べた結果、一番人気は”焚き火+そのまま”シンプルズベスト、ということでしょうか。石焼きは時間がちょっと足りなかったようで、ベストの状態ではなかったので、また試してみたいところです。

### 参加者(子どもたち)の感想

すぐに火がつかなくて大変だったけど、楽しかった。

みんなで食べる焼き芋はおいしかった。

ぬれたしんぶんしとアルミホイルでまいたのがおいしかった

### 参加者(保護者)の感想

焼いている待ち時間に他の参加者との会話も弾みつながりも生まれました。

自宅でも子どもと焼き芋をしてみます。



# SUPPORT

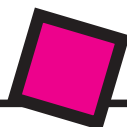


## NAZELABは一般社団法人タテノイトが 日本財団の助成を受けて運営しています。

「子ども第三の居場所」コミュニティモデルとして、地域の方が気軽に立ち寄り、子どもたちが地域の人々との交流を通じて人と関わる力や自己肯定感を育むことができる環境を用意します。「子ども第三の居場所」は、すべての子どもたちが将来の自立に向けて生き抜く力を育むことを目的として、日本財団が中心となって2016年より全国に開設しています。

「子ども第三の居場所」では、特にひとり親世帯や親の共働きによる孤立や孤食、発達特性による学習や生活上の困難、経済的理由による機会の喪失など、各々の置かれている状況により困難に直面している子どもたちを対象に放課後の居場所を提供し、食事、学習習慣・生活習慣の定着、体験機会を提供しています。同時に、学校や地域、専門機関と連携し、「誰一人取り残されない地域子育てコミュニティ」のハブとしての機能を担っていきます。

現在全国に65カ所設置され、2025年度までに全国500拠点の開設を目指しています。  
(2021年12月現在)



## ご協力、連携して頂いている関係機関や団体

### 1. 横瀬町

- ・官民連携プラットフォーム「よこらぼ」に採択(採択No93)
- ・拠点隣接施設である町のコミュニティスペース「オープン&フレンドリースペース エリア898」を使ったイベント

### 2. 株式会社ENgaWA

- ・チャレンジキッチンENgaWAにおける子ども食堂イベント開催へのご協力

### 3. 株式会社LIFULL

- ・拠点と隣接するコワーキング施設「LivingAnywhere Commons横瀬」との連携と共創

### 4. 株式会社日立ハイテク

- ・卓上型電子顕微鏡を借用とイベントへのご協力



### 5. 株式会社リングロー

- ・パソコンの解体ワークショップの共催およびパソコンのご提供

### 6. 青山学院大学地球社会共生学部古橋研究室

- ・森の居場所整備へのご協力



## メディア紹介

### ●朝日新聞(2022/1/7)

- ・研究が好きだから⑥館野さん夫婦、研究者から保育士に

### ●秩父経済新聞およびYahoo!ニュース(2022/1/24)

- ・横瀬町のタテノイト、「なぜ?」「やってみたい」に寄り添うイベントを

### ●埼玉県移住推進フリーペーパー「saitama story vol.2」





TATE NO ITO  
タテノイト

一般社団法人 タテノイト

〒368-0072 埼玉県秩父郡横瀬町横瀬1263-4  
info@nazelab.com

